

1 事業者ヒアリングについて（概要）

ヒアリング概要

【対象者】

市民団体、店舗出店者、メディア関連など計12社

【ヒアリング内容】

新本庁舎低層部等への民間事業の導入可能性や整備すべき機能や市民広場を含めた一体的利活用の可能性等について聞き取り

ヒアリング結果

【全般】

- ・市役所エリアと定禅寺通りが分断されており、動線計画が重要
- ・市役所と定禅寺通の役割分担・コンテンツの連携が重要
- ・市内同種施設との役割分担と、ここに来ないと成り立たないような目的型の施設であることが重要

【低層部の配置について】

- ・北庁舎の再開発があるならば、北からの見通しの良い動線が良い
- ・賑やかさを魅せるには分散配置のほうが面白いが、管理の面では手間がかかる
- ・配置を固めすぎると後々不都合が生じる可能性があるので、実証実験等を試みながら検討が必要

【低層部の機能案】

- ・現時点の内容で固めていくことは現実的ではない
- ・社会人と学生のセッション場所等、ハブ機能を持たせて市職員以外の賑わいを
- ・店舗レイアウトは、ある程度参入事業者の意向に沿った方が良い

【敷地内広場】

- ・アクティビティにより広場の面積や配置等も変わる
- ・市民の憩いの場となるような、座って楽しめる空間
- ・芝生広場をつくり、平日も人が集まる日常利用ができる場所を期待
- ・天候に左右されない屋根付き広場のようなスペースづくりが重要
- ・市民広場との一体的利用を考えるのであれば、広場面積は大きい方が良い
- ・配置によっては、市民広場と低層部で同時に2つのイベントが実施可能
- ・設備等については可動性を持たせる必要がある

【道路空間（市道表小路線）の利活用】

- ・市民広場等でのイベント時には、安全・安心を確保のうえ、道路空間も使った一体なイベントを実施
- ・道路部分だけアスファルトだと一体感がないため、公園と道路の境目がない空間が使いやすい

【事業への参画意向】

- ・全ての事業者が事業への関心あり
- ・市民広場を含めた一体的利活用については、多くの事業者が民間で運営できる範囲との認識
- ・ハード部分の面積検討に加われないと参画が難しい